

かわいい鳥を見つけよう！

矢倉海岸・緑陰道路 探鳥会

ムクドリ

キビタキ

野鳥を通じ、西淀川の自然を知り、季節の移ろいを感じませんか。
初めての人でも大丈夫。日本野鳥の会大阪支部のリーダーが、その豊富な知識で解説していただきます。

春 2024年
4/21 (日)

合同開催「榎本佳樹生誕150年記念シーズン2」
※くわしくは裏面を参照ください

秋 2024年
9/1 (日)

合同開催「バーディ 海辺の生物」

冬 2025年
3/16 (日)

毎年、春、秋、冬の3回開催

※雨天・雷注意報発令時中止（あおぞら財団 HP、Facebook等で告知します）



集合 9:30 阪神なんば線福駅
東側改札前（千船病院側）

参加費 200円（日本野鳥の会 会員100円）
（保険代）

持ち物 水筒、双眼鏡（あれば）、筆記用具

参加方法 当日、集合場所へお集まり下さい

～ 当日の流れ ～

9:30 阪神福駅に集合し、大野川緑陰道路での
野鳥・自然・植物観察しながら歩いて矢倉海岸
まで向かいます（約3.5km）

12:30 矢倉緑地公園にて終了・解散

※お弁当持参の方は、この後昼食になります。



主催：あおぞら財団（公益財団法人公害地域再生センター）
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟 1-1-1 あおぞらビル 4 階
TEL：06-6475-8885 FAX：06-6478-5885
http://aozora.or.jp E-mail：webmaster@aozora.or.jp

共催：日本野鳥の会 大阪支部
〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町6-16 NEXT 21-1 階
https://wbsjosaka.com/bird/
西淀川区役所共創事業

カワセミ

春 2024年
4/21 (日)

春は冬鳥が北の繁殖地へ渡り、夏鳥は南から渡っていくほか、旅鳥も観察できる季節です。



合同開催「榎本佳樹生誕150年記念シーズン2」

日本野鳥の会 大阪支部創設期に活躍された榎本佳樹さんの生誕150周年の記念事業を同時開催します。

※榎本佳樹生誕150年記念事業については日本野鳥の会 大阪支部ホームページをご覧ください。



秋 2024年
9/1 (日)

夏の終わりのまだ暑い時期ですが、シギ・チドリなど 干潟、湿地などに生息する渡り鳥を観察することができます。

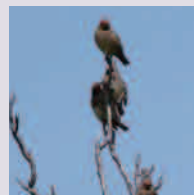
合同開催「バーディ 海辺の生物」

カニやイソギンチャク、カイメンなど海辺の生き物に目を向けます。バーディ参加者は、お弁当を持参、13:00頃矢倉緑地を出発、14:00頃に福駅解散予定です。



冬 2025年
3/16 (日)

越冬中の冬鳥や留鳥を探します。淀川やその河口、矢倉緑地公園でカモ科やカメ科、ウ科、サギ科の野鳥の他、猛禽のミサゴ、冬鳥のツグミやジョウビタキ、シロハラなどを観察します。



西淀川の野鳥観察スポットの紹介

矢倉海岸

淀川河口右岸と神崎川河口に挟まれた三角地帯(約 16.6 ヘクタール)は、江戸時代に京都の矢倉九右衛門により、新田として干拓されたため「矢倉海岸」と呼ばれています。戦後、この地は阪神工業地帯の中心地となり、全国的に有名な西淀川公害が発生。また、工業用水のくみ上げで地盤沈下し、一旦は水没しましたが、大阪市が 1970 年から 7 年間かけて産業廃棄物で埋め立てられました。住民運動の成果もあって、海岸の先端部の約 2.4 ヘクタールは公園になりました。



大野川緑陰道路

集合場所の福駅～矢倉海岸の往復に利用する大野川緑陰道路は、かつては農業用水路であった大野川が工業化の進展で汚れ、その機能を失ってしまったことから埋め立てられ 1979 年に自転車道・歩行者道に分かれた遊歩道として整備されました。



福漁港

西淀川の漁業は、川(淀川)と海(大阪湾)の2種類。現在川ではウナギやシジミ、ハゼなどを獲り、海ではシラス、イカナゴ、ボラなどを獲っています。大正から昭和初期にかけて最盛期を迎えましたが、1960年代には水質汚濁のために魚が油臭くなり、魚は捕れるが売れない時代が続きました。近年は水質がきれいになり、漁獲量が持ち直しています。

